

平成19年度「起業基礎」実践と評価

「起業基礎」委員会 奥村 準子

要旨 「起業基礎」開発5年目となる平成19年度は、科目の到達目標「7つの力」をもとに、新たな取り組みとして、ノートブックの作成、長期休業中の課題、融資審査システムの合理化、保健所の設置、大阪商業大学主催「ビジネスアイデア甲子園・起業教育ミーティング」参加、などを実施した。これらの活動をとおり、生徒の自己評価をふまえた多面的な評価活動をおこない、生徒のキャリア形成支援とその変容（成果）について報告する。

キーワード アントレプレナーシップ・キャリア形成・社会人基礎力・体験型学習・評価活動

はじめに

平成15～17年度において本校が研究開発指定（研究課題「大学との連携による高等学校における起業・ベンチャー教育プログラムの開発」）を受けた科目「起業基礎」も開発から5年目を迎え、校内におけるアントレプレナーシップ育成に関わる様々な取り組みも充実してきた。これまでの蓄積を活かしつつ、平成19年度はいくつかの新たな挑戦をおこなった。

1. 指導のねらい

総合学科13期生担任団は、新入生を迎え入れた平成18年度に、3年間の高校生活を見通した以下の目標を立て、計画的に実践してきた。

【13期生担任団のビジョン】

（1）チームワークの大切さを学ぶ体験重視の学習プログラムによってリーダーを育て、生徒の主体性を伸ばす学年運営をおこなう。（1年次最初の行事：コミュニケーション・キャンプの目標を「Self Challenge Team Challenge」とした）

（2）高校受験でバーンアウトした生徒や、中学校で学校外の社会ヘドロップアウトしていた生徒が「学校は楽しい」「学習は楽しい」と感じる場を創出する

（3）（2）の実現に向け、生徒の自尊感情の保証を目指したクラス運営・学校運営を目指す。具体的な方策として、HR担任のカウンセリングスキルの向上、学年表彰制度など生徒の学習成果を積極的に評価する場を設ける。

（4）保護者との連携を意図し、毎月1回の年次通信発行や学務情報共有システムの活用など、積極的な情報交

信と保護者を巻き込んだ行事運営を展開する。

（5）総合学科の生徒として、自身のキャリア形成を意識させ、進路実現を促進するために、1年次の「産社・産理」の時間を用いて「自由・自律・自覚」の生活目標を実現させるとともに、「単位制で系列科目選択」が重要な位置を占める総合学科のシステムを理解させる。

今年度は、これに加え、教科「産業」の2年次科目である「起業基礎」の学習を経験させるねらいを以下のように考えた。

（6）「起業基礎」のねらいと培いたい「7つの力」（次項参照）を身に付ける過程のなかで、社会と自分との「つながり（関係性）」を意識し、社会に貢献することの意義や、失敗から学ぶことの大切さを学びながら問題発見・解決能力を育み、3年次科目の「卒業研究」のテーマや自身の進路について考える契機とする。

以上のねらいをふまえ、具体的な目標を次項に掲げた。

2. 培いたい力

開発5年目を迎えた「起業基礎」の学習目標は、以下のとおりである。（本校「第10回総合学科研究大会資料集」（2007）より抜粋）

【「起業基礎」の学習目標】

教科「産業」の学習を踏まえた、起業に関する体験的かつ実践的な学習を通して、自らの発想を実態に基づいて具現化すると共に、起業家精神を養い、物事に主体的に取り組む態度を育成する。また、教育、環境、生活、

学校、地域、福祉、文化などの社会的な領域において、生徒の身近な視点で問題点を発見し、その解決策を具体的に考え、実践する能力を育成する。

本校では特に「起業家精神（アントレプレナーシップ）」の育成が重視され、単に会社を興すことではなく、広く「事業をおこすこと」（例えば、新しいボランティア活動を企画し、実際に活動するなど）を視野に入れた事業を評価する方針をもち、学習目標実現のために、生徒に向けた到達目標として「7つの力」を示している。

【起業基礎で養いたい「7つの力」】

- ① 問題発見力（社会のニーズを見つける力）
- ② アイデア力（発見した問題を解決するアイデアを考察する力）
- ③ 企画立案力（アイデアを具体化する力）
- ④ 実行力（実際に試行錯誤する力）
- ⑤ 情報力（必要な情報を集め、活用し、発信する力）
- ⑥ チームワーク力（他者の考えを理解し、協力していく力）
- ⑦ プレゼンテーション力（自分の考えをわかりやすく人に伝える力）

今年度は、独立行政法人日本学術振興会の科学研究費補助金（奨励研究）の交付（代表：奥村準子、研究課題名：「総合学科高校のアントレプレナーシップ教育における生徒のキャリア形成測定手法の開発」、課題番号：19906026）を受け、外部機関との連携を含めた評価システムの構築を目指して取り組んできた。

具体的には、経済産業省が発表した「社会人基礎力」を参考に、京都・アントレプレナーシップセンターや大阪商業大学の起業教育研究会などが主催するセミナーやイベントに教員が参加しながら、「7つの力」の下位項目として具体的な活動実績を数値化し、自身の活動をふりかえる自己評価システム構築を目指す一方、生徒の校外への活動を積極的に促し連携をとるなかで、外部からの評価をいただくことをめざした。今年度は以下の形で外部から評価をいただいた。

1. 坂戸総合政策部広報広聴課および読売コミュニティセンターが生徒の起業活動（詳細は後述）を取材し、「広報さかど（坂戸市広報誌）」・「よみうりVoice（3市2町に75,000部発行の情報誌）」に記載された。
2. 大阪商業大学主催「ビジネスアイデア甲子園」および「起業教育ミーティング」へ参加し、前者は入賞者が

表彰され、後者は実践報告の発表と質疑応答をおこなった。（詳細は後述）

こうした多方面からの評価により、生徒のキャリア形成をより効果的に測定できたと考えられる。

また、自身の活動をふりかえる自己評価システムについては、下記ふたつの資料を参考にした。参考資料①は文部科学省が高等学校（特に普通科）におけるキャリア教育の在り方について具体的検討をおこなうために設置した会議の報告書であり、キャリア教育推進にむけた提言と具体的指導例・留意点が盛り込まれており、総合学科の必修科目である「産業社会と人間」がキャリア教育に極めて有効であること、適切な評価方法の検討などが指摘されている。

参考資料②は、経済産業省が日本経済を担う産業人材の確保・育成の観点から開催した研究会である。職場で求められる諸能力を「社会人基礎力」と定義し、これを構成する三要素「前に踏み出す力（アクション）」「考え抜く力（シンキング）」「チームで働く力（チームワーク）」の育成について、産学連携をはじめ教育機関や家庭・地域社会全体で取り組むべき課題を具体的に提案している。

これらを参考に、本校開発科目である「起業基礎」のめざす「7つの力」を構成する具体的な能力要素について明確化し、生徒に自己評価させることを試みた。

参考資料①「高等学校におけるキャリア教育の推進に関する調査研究協力者会議 報告書～普通科におけるキャリア教育の推進～」（2006年11月）

第2章 キャリア教育の推進のための方策

提言3 キャリア教育の位置づけの明確化に向けての検討

社会的自立、職業的自立に向けたキャリア教育の推進と充実を図るために、その中核となる時間を教育課程に明確に位置付けることが求められる。例えば「産業社会と人間」の履修を通して、生徒の学習に対する姿勢や態度、目的意識や進路意識の向上に大きくつながっており、極めて有効なものとなっている。

提言4 キャリア教育の適切な評価及び生徒の評価方法の検討

キャリア教育の目標達成・効果的実践のために、PDCAサイクルや自己評価カード、ポートフォリオ等を用いることが有効であることなど、キャリア発達の評価方法等について、各学校、各都道府県教育委員会及び国等において、検討することを求めたい。

参考資料②「社会人基礎力」に関する研究会・中間取りまとめ（2006年2月）

「社会人基礎力」

＝「組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」

社会人基礎力を構成する主要な能力

- ①「前に踏み出す力」（アクション）～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～
- ②「考え抜く力」（シンキング）～疑問を持ち、考え抜く力～
- ③「チームで働く力」（チームワーク）～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

3. キャリア形成上の留意点（平成19年度の新たな試み）

この項では、上記のねらいにもとづいて、平成19年度「起業基礎」委員会（授業担当者9名：竹内・後藤・奥村・渋谷・初谷・對崎・丹羽・金城・田中）が新たに試みた授業上のくふうについて述べる。

（1）ノート作成（H18につづき）

平成18年度の「産業社会と人間・産業理解ノート」につづき、平成19年度の「起業基礎」も授業で使用するワークシート・日誌をまとめてノートブックの形にすることにした。平成19年の3～4月にかけ、授業担当者で年間計画と授業分担（ワークシート執筆）を決めて原稿を集約した。（時間不足もあり、項目によっては白紙のまま製本となった部分もある。）昨年度のノート作製の教育的効果として、記録の散逸を防ぎ、学年共通のノートを持つことによる愛着感と一体感を期待していたが、今年度はさらに、ワークシートと年間授業計画掲載によって「一年間の流れを見渡す視点」が生まれ、さらに昨年度の生徒のワークシートをモデル（手本）として掲載することにより、活動内容のイメージを具体的に伝えることが可能となり、ノート裏表紙に評価基準を記載することで授業に対する目標（何を頑張ると評価が上がるか）が明確となるなどの効果もあった。

【平成19年度「起業基礎ノート」の構成（目次）】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 校長先生の言葉 | 2. 年間学習計画 |
| 3. 年間行事計画 | 4. イントロダクションワークシート |
| 5. 講演の聴き方説明 | 6. 講演会レジュメ |
| 7. 発想をふくらませる | 8. 説明・ワークシート |
| 9. ヒアリング説明 | 10. アイディアを練る |
| 11. 構想・提案シート | 12. 構想・提案シート記入例 |
| 13. 企画概要書説明 | 14. 企画概要書（下書き用） |
| 15. 企画概要書見本 | 16. 企画提示方法説明 |
| 17. ポスター見本 | 18. ふりかえりワークシート |
| 19. 企画書の書き方説明プリント | 20. 企画書（下書き用） |
| 21. 企画書サンプル | 22. 企業見学説明 |
| 23. 企業見学ワークシート | 24. 企業見学発表会ワークシート |
| 25. 起業登録・企業運営説明 | |
| 26. ふりかえりワークシート（2学期中間） | |
| 27. ふりかえりワークシート（2学期末） | |
| 28. 事業報告書説明 | 29. 事業報告書（下書き用） |
| 30. 事業報告書サンプル | 31. 活動報告会説明 |
| 32. 活動報告サンプル | 33. 研究大会発表説明 |
| 34. ふりかえりワークシート | 35. 起業基礎ワークシート |

36. 評価方法

（2）春休みの課題（プレ起業基礎）、夏休みの課題（企業見学）

起業基礎の授業が始まる前の春休みに、生徒の授業参加意欲喚起と事前学習をねらった「プレ起業基礎課題」を出した。内容は、以下の2冊の書籍（山田昌弘『新平等社会——希望格差を超えて——格差社会』2006文藝春秋、一橋総合研究所『「身の丈起業」のすすめ』2005講談社現代新書）の一部を読んでレポートを作成するものであるが、現代社会が抱える大きな課題である「雇格格差（ニート・フリーター問題も含む）」とそれを解決する方策のひとつである「起業」について、概略的な知識を得ることと、「起業基礎」という授業をとおして、勤労観と職業観を形成していくことが求められているということを考えさせるねらいがあった。ただし、文章読解力の個人差や部活動で時間が少ない生徒もいるため、難易度に合わせて3つのコースを用意し、自分の力に合わせた課題を選択させ、年度初めの授業のグループ内発表とブレンストリーミング及びKJ法を利用した問題解決学習とポスター発表によって情報共有をおこなった。

また、夏休み課題「企業見学」については、希望制を取り、実施した生徒に対して2学期の評価を加算する形で実施した。平成17年度に実施した就業体験の再開も検討したが、時間的な拘束（最長1週間）が大きいためにかえって参加希望生徒数が少なくなること懸念されたことと、「自分の興味関心ある仕事を自分で探す」ことにチャレンジさせたい、という意図から、授業担当者側のコーディネイトを取って行わない形で実施させた。その結果、42名の生徒が下記事業所への見学・ボランティア活動に参加した。概観すると、活動参加が普及しているボランティア型の活動が多数派を占めたが、親戚や両親の知人を頼って見学した者や、企業が高校生向けに主催しているイベントに参加する者もあり、多様な参加形態が見られ、進路意識醸成の観点からも一定の成果があったと思われる。夏休み課題も、2学期最初の授業でふりかえりと分かちあいにより未参加の生徒も情報を共有できた。

【夏休み課題・企業見学 訪問事業所一覧】

（ ）内の数字は参加人数

児童館、シャープ株式会社、ファミリーマート、LOTTE、セブンイレブン、ダイエー、シャロームガーデン坂戸（4）、私立滝の根保育園（3日間）（3）、丸木美術館、みのり保育園、特別養護老人ホーム（重度認知症患者受け入れ施設）、あさば

保育園（2）、坂戸よさこい祭り（坂戸市立第一福祉作業所）（2）、新座市児童センターキャンプ場、平成20年度インターハイ開催1年前イベント（坂戸市運動公園）（4）、日経エデュケーションチャレンジ（7利カファミリー株式会社）、柏の葉診療所と薬局（サマーサイエンスキャンプ 2007）、（福）陽明福祉会 陽明保育園（4）、ファミマフェスタ（東京ビッグサイト）、アニマルセラピーの紹介、ヴェリエ・アームス（美容院） 等

参加者 計42/159名（26.4%）

（3）起業家講演について

今年度は1学期のうちにできるだけ多くの社会人から話を聞く機会を設けたいと考え、3名の講師を呼ぶことになった。講師は以下の方々である。

・平塚知真子 氏

（株）エデュケーションデザインラボ代表取締役、

（特）ままとーん理事長

・吉田 雅紀 氏

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科教授、

（株）あきない総合研究所代表取締役、デジタル

ハリウッド大学院 客員教授

・生田 茂 氏

筑波大学大学院人間総合科学研究科教授

特に平塚氏の講演は、子育て支援ネットワークをNPO法人設立まで発展していく過程について、家庭の主婦のニーズをNPO法人設立というかたちで具体的に示していただき、「起業することのおもしろさ」を体感できたことが生徒の講演ノートから伺えた。

（4）融資審査システムの変更（合理化、現実対応、失敗から学ばせる）

年間授業計画を立てるにあたり、昨年度の引き継ぎ内容を検討したところ、「法務局・銀行での審査待ち渋滞」が課題に挙げられた。生徒が企業登録をおこなう際、書類審査やプレゼンテーション不足により不合格となることがあるが、法務局の手続きを簡素化（対応教員を1人にする）し、銀行の融資審査窓口を増やす（各系列からの支援教員含め最大8名）ことで混雑緩和をめざした。結果、生徒からの渋滞苦情は大幅に軽減されたが、複数回審査にチャレンジした2～3の企業から「前回と審査基準が異なる」などの不満も出た。審査に関する教員間の引き継ぎはできるだけ密におこなってきたが、今後の課題といえそうだ。

また、学年（科目受講者）全体への連絡事項については、クラスを越えた活動となるため、学年掲示板（2年

次ホームルーム前に設置）を積極的に利用した。予備プリントの配布や企業活動の詳細情報を告知したり、転職を希望する生徒に対する採用情報などもこちらに掲示するなど、生徒への注意喚起を促した。

（5）保健所の設置

例年、校内で活動する企業の多くが文化祭感覚で食品調理・販売活動を希望するが、食品取扱企業として食品衛生に関する知識を身に付けて衛生意識を高めるため、今年度は新たに「つくさか保健所」を設置し、「食品衛生管理責任者」による講習・試験を実施することにした。詳細については後掲資料（5. 実施報告（2）平成19年度「起業基礎」保健所設置について・第1回「起業基礎」食品衛生管理責任者試験）を参照していただきたい。

（6）ビジネスアイデア甲子園と起業教育ミーティング参加

今年度の新たな挑戦のひとつとして、起業教育の先進的研究をおこなっている大阪商業大学が主催する「第6回大商大ビジネスアイデア甲子園2007」および「高校生起業教育ミーティング2007」に参加した。同校が主催する高校教員向けセミナー「起業教育研究会」にはここ3年「起業基礎」担当教員が参加して研修を積んできたが、初めて生徒にも参加を促した。ビジネスアイデア甲子園は、高校生独自の視点で社会をおもしろくするビジネスアイデアをA4サイズの応募用紙（追加資料はA3サイズ1枚まで）に説明するコンテストである（2007年度応募校数114）。積極的な参加を呼びかけたが、応募が切が企業活動の佳境に入った10月末だったこともあり、応募数はわずか5名にとどまった。「ニュービジネス部門」に応募したアイデアのひとつ（企業名：深谷カンパニー、作品名：Dear Junior high school students、内容：中学生向け高等学校紹介パンフレットの作成・販売）が奨励賞を受賞し、「高校生起業教育ミーティング2007」において活動報告を発表する機会をいただいた。「アイデア」ととどまらず「アイデアを具現化（実際に活動）する」点を評価していただいた。

4. 年間授業計画

H19年度「起業基礎」学習計画

目標	教科「産業」の学習を踏まえた、起業に関する体験的かつ実践的な学習を通して、自らの発想を実態に基づいて具体化するとともに、起業家精神を養い、物事に主体的に取り組む態度を育成する。また、教育、環境、生活、学校、地域、福祉、文化などの社会的な領域において、生徒の身近な視点で問題点を発見し、その解決策を具体的に実行能力を育成する。つまり、社会に貢献すること（社会益）を視野に入れた起業アイデアを具現化することにより、①問題発見力（社会のニーズを見つける力）②アイデア力（発見した問題を解決するアイデアを考案する力）③企画立案力（アイデアを具現化する力）④実行力（実際に試行錯誤する力）⑤情報力（必要な情報を集め、活用し、発信する力）⑥チームワーク力（他者の考えを理解し、協力していく力）⑦プレゼンテーション力（自分の考えを相手にわかりやすくまとめて伝える力）の7つの力を身につけることを目的とする。					
No.	月	日	単元	目的	学習内容	使用教室
1	4	17	全体ガイダンス①	起業基礎の全体像を知る	科目の位置づけについて	多目的
2			発想法を学ぶ	アイデアを出すための発想法や発想の整理法について学ぶ	学習内容の説明	
3		24	発想法を学ぶ	アイデアを出すための発想法や発想の整理法について学ぶ	ブレンストーミング	多目的
4						
5	5	1	発想法を学ぶ	アイデアを出すための発想法や発想の整理法について学ぶ	KJ法	多目的
6						
7		8	講演	NPO法人「ままとん」代表 (株)エコーシステム 代表取締役 平塚知真子さん	NPO法人立ち上げ 他	多目的
8						
9						
10		15	講演	DREAMGATEチーフデザイナー 関西学院大学教授 吉田雅紀	「すきめし」	多目的
11						
12						
13		22	講演	筑波大学 生田茂先生	常識にとらわれないで考える	多目的
14						
15	29	ヒアリング①	自己の活動をふりかえる	クラスごとのグループ面接	B館1階	
16		アイデアを練る①	アイデアを練る	個人でアイデアを持つ	HR	
17	6	5	アイデアを練る②	アイデアを練る	仲間を集める	多目的
18			アイデアを練る③	アイデアの具現化	企画を練る	多目的
19		12	企画提示準備	ポスターセッション準備	企画提示の準備をする。	多目的 A・B/パソ
20			企画の提示	ポスターセッション	企画を発表する	多目的 A・B/パソ
21		19	ヒアリング②	自己の活動をふりかえる	クラスごとのグループ面接	B館1階
22			ふりかえり（個人）		ふりかえりシートに記入	HR
23		26	企画書の書き方	企画書の書き方を学ぶ	企画書の書き方を理解する	多目的
24			企画書を書く	企画書の書き方を学ぶ	企画書を書いてみる	
25	夏期休業中		企業見学	企業の組織構成について知る	企業見学をする	
26	9	4	発表会	企業見学結果の発表会を行う	お互いの発表を聞き合う	多目的
27			起業登録の説明	起業活動の方法を知る	起業登録の方法を知る	多目的
28		11	起業活動①	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
29			起業活動②			
30		18	起業活動③	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
31			起業活動④			
32		2	起業活動⑤	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
33			起業活動⑥			

H19年度「起業基礎」学習計画

目標	教科「産業」の学習を踏まえた、起業に関する体験的かつ実践的な学習を通して、自らの発想を実態に基づいて具体化するとともに、起業家精神を養い、物事に主体的に取り組む態度を育成する。また、教育、環境、生活、学校、地域、福祉、文化などの社会的な領域において、生徒の身近な視点で問題点を発見し、その解決策を具体的に実行する能力を育成する。つまり、社会に貢献すること（社会益）を視野に入れた起業アイデアを具現化することにより、①問題発見力（社会のニーズを見つける力）②アイデア力（発見した問題を解決するアイデアを考案する力）③企画立案力（アイデアを具現化する力）④実行力（実際に試行錯誤する力）⑤情報力（必要な情報を集め、活用し、発信する力）⑥チームワーク力（他者の考えを理解し、協力していく力）⑦プレゼンテーション力（自分の考えを相手にわかりやすくまとめて伝える力）の7つの力を身につけることを目的とする。					
32	10	9	起業活動⑦	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
33			起業活動⑧			
34		16	ヒアリング③	自己の活動をふりかえる	クラスごとのグループ面接	B館1階
35			ふりかえり（個人）		ふりかえりシートに記入	HR
36		23	起業活動⑨	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
37			起業活動⑩			
38		30	起業活動⑪	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
39			起業活動⑫			
40	11	6	起業活動⑬	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
41			起業活動⑭			
42		13	起業活動⑮	起業活動を行う	企画を運営し、再検討する	多目的 A・B/パソ
43			起業活動⑯			
44		20	ヒアリング④	自己の活動をふりかえる	クラスごとのグループ面接	B館1階
45			ふりかえり（個人）		ふりかえりシートに記入	HR
46	12	11	事業報告書の説明	事業報告の方法を知る	事業報告書の書き方を学ぶ	多目的 A・B/パソ
47			事業報告書の作成①	事業報告書を作成する	報告書をまとめる	多目的 A・B/パソ
48		18	事業報告書の作成②	事業報告書を作成する	報告書をまとめる	多目的 A・B/パソ
49			事業報告書の作成③			
52	1	8	事業報告書の作成④	事業報告書を作成する	報告書をまとめる	多目的 A・B/パソ
53			事業報告書の提出	事業報告書の提出	報告書をまとめる	多目的 A・B/パソ
54		22	活動報告会の説明	活動報告会の方法を知る	活動報告会の方法を知る	多目的 A・B/パソ
55			ポスターの作成①	プレゼン準備	ポスターの作成	多目的 A・B/パソ
56		22	ポスターの作成②	プレゼン準備	ポスターの完成	多目的 A・B/パソ
57			ポスターの作成③			
58	2	12	ポスターの作成④	プレゼン準備	ポスターの完成	多目的 A・B/パソ
59			ポスターの作成⑤			
60		19	研究大会	外部に発表する	発表する	体育館
61		26	ヒアリング⑤	自己の活動をふりかえる	クラスごとのグループ面接	B館1階
62	ふりかえり（個人）		ふりかえりシートに記入		HR	

5. 実施報告（資料1～3は後掲）

資料1 生徒の活動記録

- ①5月8日講演記録 ②夏休み課題 ③企画書
（下書用） ④資金計画書（下書用） ⑤2学期ふり
かえりシート ⑥10月30日・11月6日起業基礎ワ
ークシート ⑦活動のようす（写真）

資料2 保健所設置について・食品衛生管理責任者試験

資料3 全企業の活動状況まとめ

（4）ケーススタディ企業活動

ここでは、今年度活動をおこなった企業のうち、積極
的に校外活動をおこない、外部団体とのつながりをつく
ることに成功した企業を4社紹介する。

事例①「筑坂清掃団」（資料1-③）

～地域・坂戸市役所への働きかけ～

「起業基礎」の学習目標である「起業家精神（アントレプレナーシ
ップ）」を「事業をおこす（社会益を得る）こと」と捉え、清掃活動によ
り社会を知り、地域に学校をアピールすることを目指して活動をおこな
った。活動許可と清掃用具の貸出を坂戸市役所に求め、地域住民にも参
加を呼びかけた結果、3名の参加が得られた。また、拾ったタバコの吸
い殻が1000本以上に及んだことから、坂戸市議会に対し、12月定例会
の一般質問で「ポイ捨て禁止条例の策定について（要望）」を提出、環
境部長よりEメールで回答を得るところまで発展した。

事例②「深谷カンパニー」（資料1-⑦）

～中学生に向けた新たなビジネス～

前述した「ビジネスアイデア甲子園」で奨励賞を受賞した企業の活
動である。中学生に理解の難しい総合学科のシステムを分かりやすく説
明し、在校生独自の視点で学校を紹介する冊子「つくんぼ」を制作した。
A5サイズ44ページから成る情報誌には、4つの系列、年間行事、つく
さか独特の授業、校内のようす、部活・同好会紹介などが盛り込まれ内
容豊富であった。11月17日に本校で行われた入試説明会において販売
したが、売り上げは伸びず3,175円の赤字を出した。校内向けの販売で
あれば生徒同士の友人関係や教員の愛情で販売数を伸ばすこともでき
るが、外部に向けた商品販売は、マーケティングや広報戦略などクリアす
べき難しい課題があることを社員は身を以て体験することとなった。ま
た、入試説明会当日は食品調理販売もふくめ複数の企業が活動をおこな
ったが、受験生を顧客ターゲットにすることに對する是非論も教員間で
起こり、検討すべき今後の課題となった。

事例③「Clean's」（資料1-⑤、⑦）

～地域行事への参加と広報活動～

坂戸市のスーパー各店でおこなわれているレジ袋削減運動に対し、エ
コバッグ（トートバッグ）を販売しながら市民へ環境（Eco）に対する

意識喚起をおこない、坂戸市の広報誌へ掲載をはたらきかけ、多くの
人々に対し環境について考えてもらうことを目指した。11月17日坂戸市
商工労働課が主催する「第3回さかど元気朝市」に出展し、伊利坂戸市
長も視察に訪れるなか、エコバッグの販売と地球温暖化の現状を市民に
説明した。完売には至らなかったが、7,190円の利益を出してビジネス
としても成功していた。また、12月15日付の「広報さかど」と11月24
日付情報誌「よみうりVoice」に活動の様子が掲載され、企業の目標で
あった「多くの人々に環境について考えてもらう」ことを実現した。

事例④「7538.music」（資料①-⑦）

～坂戸サークルホームでの活動～

演劇部とアンサンブル部で活動する社員4名が「自分たちの音楽表現
を聞いてもらいたい」という思いをビジネスとして実現できないかと模
索した企業である。結果的に営利活動には至らなかったものの、社会福
祉法人プラモウト・サークルクラブが経営する特別養護老人ホーム「坂
戸サークルホーム」への慰問という形で活動が実現した。企業活動期間
の延長願いを提出し、11月22日の下見（打ち合わせ）を経て、11月25
日に同施設を訪問した。当日は、利用者・社員約60名の前で「幸せなら
手をたたこう」「ふるさと」などを演奏した。

以上の事例から、校外での企業活動の特徴として「福
祉・環境に関わる活動」が中心となったことが挙げられ
る。企業としての利益を生むことには成功していないが、
日本社会の抱える課題に対して高校生独自の視線で活動
を展開した点が評価できるだろう。また、校内の活動に
目を向けると、食品調理販売企業が主流のなか、靴・上
履きの消臭殺菌、ヘアメイクサービス、テスト対策問題
集販売、VTR作成・上映会開催など、新たなサービス
提供をアイデアに健闘する企業もあった。「ものづくり」
から「サービス」へ、本校の企業活動も多様化を遂
げている。

6. 評価活動

（1）成績評価

今年度「起業基礎」成績評価についてはノート裏表紙
に下記の通り記載した。

【授業の成績評価】

評価の割合（％）

《1学期》

- | | |
|--------------------------------|-----|
| ① 春休みの課題（提出・内容・テスト） | 10％ |
| ② 授業の記録（ガイダンス・起業家講話・起業プロセスを学ぶ） | 10％ |
| ③ 企画書の提出・内容 | 20％ |
| ④ ポスターセッションの参加・内容 | 10％ |
| ⑤ ふりかえりシートの内容 | 10％ |
| ⑥ ヒアリング（第1回目5/30、第2回目6/27） | 20％ |

⑦ 毎回のワークシートの記録状況	20%
------------------	-----

《2学期》

① 夏休みの課題（提出・内容）	10%
② 企画審査をうけたか	20%
③ 起業活動ができたか	20%
④ ふりかえりシートの内容	10%
⑤ ヒアリング（第3回目9/5、第4回目11/21）	20%
⑥ 毎回のワークシートの記録状況	20%

《3学期》

① 起業活動状況	10%
② 事業報告書の提出	20%
③ 事業報告会（ポスターセッション）の評価	20%
④ ふりかえりシートの内容	20%
⑤ ヒアリング（第5回目2/13）	10%
⑥ 毎回のワークシートの記録状況	20%

★起業基礎ファイル未提出者の評価は、「1」とする。

（2）各学期末の自己評価（ふりかえりアンケート）

これまでの科目開発によって生まれた「生徒に身に付けさせたい7つの力」について、前述した「社会人基礎力」などを参考に、今年度は各能力を構成する諸要素（下位項目）を下記のとおり新たに設定した。これらの諸要素について、各学期末に実施する自己評価活動（ふりかえりアンケート）のなかでその伸びを分析した。

【「7つの力」を構成する諸要素（ふりかえりアンケート質問項目）】

1. 問題発見力（社会のニーズを見つける力）

- Q1 現代の社会・生活場面で起こる問題についてその原因や改善案を考える。
- Q2 現代の社会が求めるニーズについて、具体的な商品やサービスを考える。
- Q3 現状を分析し、「ここに問題（ニーズ）があり解決が必要だ」と他者に提案する。

2. アイデア力（発見した問題を解決するアイデアを考察する力）

- Q4 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。
- Q5 批判や非難をおそれず、自分のアイデアを他者に提案する。
- Q6 良いアイデアが出るまで時間をかけて粘り強く考える。

3. 企画立案力（アイデアを具体化する力）

- Q7 ブレーンストーミングなどのアイデア法を活用してアイデアを企画にしていく。
- Q8 インパクトのあるネーミング（社名・企画名・商品名）を考える。
- Q9 企画の実現性や達成目標を明確にした企画書を作成する。

4. 実行力（実際に試行錯誤する力）

- Q10 指示を待つのではなく、みずからやるべきことを見つけ、積極的にとりくむ。
- Q11 「やろうよ」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。
- Q12 「いつまでにこれをやる」という目標を自ら設定し、計画的に取り組む。

5. 情報力（必要な情報を集め、活用し、発信する力）

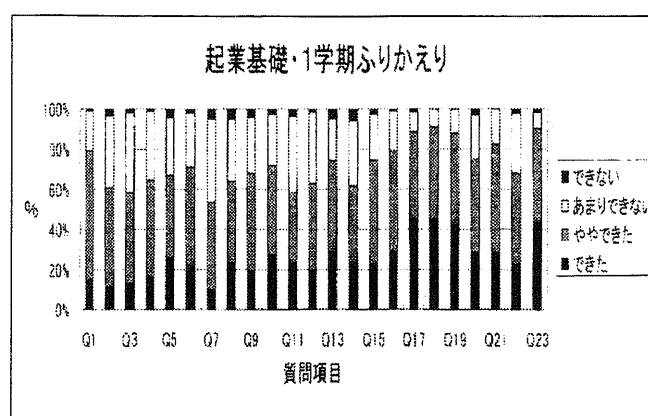
- Q13 インターネット検索や聞き取り調査をおこない、ニーズを把握する情報を集める。
- Q14 情報の取捨選択をおこない、必要な情報を整理してファイルに保存・保管する。
- Q15 集めた情報を分析・整理し、企画書やポスターに書き出していく。

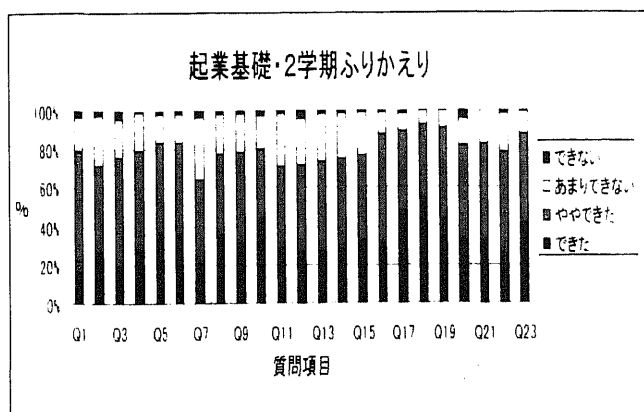
6. チームワーク力（他者の考えを理解し、協力していく力）

- Q16 話しやすい雰囲気をつくり、適切なタイミングの質問で相手の意見を引き出す。
- Q17 自分のやり方にこだわらず、仲間の意見や立場を尊重し理解する。
- Q18 チームの仕事のなかで仕事や役割を分担し、自分の責任を果たす。
- Q19 ミーティングや作業の時間を守るなど、仲間とのルールや約束を守る。
- Q20 意見が対立してストレスを感じたとき、成長の機会だと捉えて楽観的に対処する。

7. プレゼンテーション力（自分の考えをわかりやすく人に伝える力）

- Q21 何を目的にし、だれに伝えるべきプレゼンテーションなのかを理解する。
- Q22 話し方と見せ方の両方を工夫し、筋道だった説明になるよう工夫する。
- Q23 他者からの評価で自分の課題（足りなかった点・工夫が必要な点）を理解する。





※入力作業は起業基礎登録企業「フタエノキワミ（仮）」（登録No.200730）の協力による。

【1学期ふりかえり・分析】

実施：2007年7月11日 回収数：154(96.3%)

○生徒が特に困難を感じている項目（「あまりできない」・「できない」回答率が高い）

- Q2 現代の社会が求めるニーズについて、具体的な商品やサービスを考える。
- Q3 現状を分析し、「ここに問題（ニーズ）があり解決が必要だ」と他者に提案する。
- Q7 ブレーンストーミングなどのアイデア法を活用してアイデアを企画にしていく。
- Q11 「やろうよ」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。
- Q12 「いつまでにこれをやる」という目標を自ら設定し、計画的に取り組む。
- Q14 情報の取捨選択をおこない、必要な情報を整理してファイルに保存・保管する。

【2学期ふりかえり・分析】

実施：2007年11月20日 回収数：147(92.5%)

○1学期と比較して「できた」と回答した割合が増えた項目

- Q2 現代の社会が求めるニーズについて、具体的な商品やサービスを考える。
- Q4 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。
- Q6 良いアイデアが出るまで時間をかけて粘り強く考える。
- Q10 指示を待つのではなく、みずからやるべきことを見つけて積極的にとりくむ。
- Q15 集めた情報を分析・整理し、企画書やポスターに書き出していく。
- Q18 チームの仕事のなかで仕事や役割を分担し、自分の責任を果たす。

1学期は、問題発見力・アイデア力に困難を感じる生徒が目立った。また、主体性・計画性・情報の取捨選択についてもこれまでの教科主体の学習活動とはことなる環境にとまどいを感じているようだった。2学期に入り、実際の企業活動が始まると、項目全体に対して実現の実感をもつ生徒の割合が増え、アイデアの具現化に向けて粘り強く考える姿勢やチームワークと役割分担、自己の責任を意識して積極的に活動できたと感じている生徒が増えた。その一方で、活動に至らなかった生徒には強い多忙感・困難を感じる授業であったことが下記の感想・要望から伺える。

【生徒による授業への要望・感想（1学期）】

- もう少し時間に余裕をもったスケジュールにしてほしい
- ノートは産社と同じ大きさがよいです・・・
- 他者に自分の意見を述べる機会を、ポスターセッション以外にも作ってほしい
- ちゃんと責任感をもつ
- 企画概要書・ポスターを作った時、時間が足りなかったの、提出までの期間を長くしてほしい
- もっと使える教室を増やしてほしい。多目的じゃ少ない。狭い。
- もっと楽しくしてほしい。
- 先生も起業したら、先生がどれ程の力かわかると思う。
- 現状維持
- 企業アドバイザーがいたら、もっと現実的な企画になると思います。
- もっと人の行き来（社員の勧誘など）ができればいいと思う。
- 社員不足の企業は社員を引き抜きたくてもできない。
- 具体的な日程がほしい。たまに意味不明
- もっと授業として取り組める時間がほしい
- これからの計画表をつくる時間がほしい
- もっといろんな人とチームをつくってチームワークを高めたかった
- 相談窓口があるとうれしいです
- 自分たちの企画の進行などの意見交換の機会を増やしてほしい
- もっと企業同士の連携を・・・
- 実習をもっと取り入れると良いと思う
- 放課後も起業基礎をやるために先生達もっと協力してほしい（ポスターセッションで）良い評価だった2つの企業のプレゼンをみたい
- パソコン使わない授業にしてほしい。体がもちません。胃に穴があきそうです。

【生徒による授業への要望・感想（2学期）】

企業活動の時間を長くする。
審査の教員の配置を良く検討してほしい
もっと具体例がほしかった
説明をもっとしてほしい
もっとこういった楽しい授業をたくさんしてほしい
もっとリアリティがほしい
あんまり忙しすぎないようにしてほしい（例えば起業基礎のピーク時となにかの提出物がかぶらない ように）
企業の一覧（どこでいつやるか）の紙を昇降口の所にも掲示した方がいいかもしれない。
もっと食品以外の企業を増やして欲しい（食品以外の企業に魅力があるような説明をして下さい！）
もっともっと市役所とかの連携がとれるようにするといい！（相互扶助）
現状維持がベスト（このまま頑張っていきたい）
料金の受け渡しについて（出入金の手続き？）
先生が色々な企業を見て回り、アドバイスする
自己のふりかえりだけでなく、グループやクラスのふりかえりもする
起業基礎暇多い
もっとアドバイスが欲しい！！
審査は1回目にうけた先生でやりたい。でないと話が伝わりにくい。
先生の話が長くない授業にしてほしい。（もっと）
起業期間と他の行事等がなるべく重ならないようにしてほしい
利益は自分達のものにできる様にした方がみんなのやる気もあがるかと
活動が自由な取り組みがあったら良いなと思います。そうすれば、グループごとで独自性がある面白く、意欲がある人とそうでない人との差がハッキリ表れると思います。
このアンケートの結果を見て、他の人達はどのように考えているのか知りたいです。

（3）評価活動まとめ

科目開発から4年が経過し、先輩からのアドバイスや授業担当教員の経験値も上がり、授業の流れ全体を見るとスムーズに進めることができたように思う。また、坂戸市役所をはじめ外部団体との連携体制も少しずつ発展し、夏休みの企業見学も含め生徒の活動が校外に広がった5年目であった。特に、「現実の社会の厳しさ」を赤字売上や質問回答の形でもらった企業は、失敗経験による学びの大きさを実感できたのではないと思う。成功体験も生徒を伸ばす大きな要素となるが、「失敗から学ぶ」ことの重みを体感し、次年度の卒業研究に活かして

もらえたら、と考えている。

自己評価システムの構築を目指した今年度の起業基礎であったが、結果として「システム」構築には至っていない。生徒の多くが「ふりかえりシート」に書き込んだ自身の課題は、「リーダーシップ」と「チームワーク」、「実行力」であった。これらの数値化と生徒へのフィードバックが今後の課題である。

7. 今後の課題

起業基礎の魅力は、生徒の多彩な活動を教員が支援することで、成功失敗両方を含めた活動の発展を見ることができることだが、生徒も教員も業務に追われ多忙となることが避けられない。さらに、2年次は12月に台湾校外学習（4泊5日）を実施し、今年度は台湾での交流校が初めて来校する行事も実施した。そのため、11月の企業活動の時期は校外学習の事前学習・準備と重なり、多忙を極める形となった。来年度以降の授業の展開について、簡素化・合理化のくふうを検討する必要があるだろう。

クラスを越えたグループ活動は生徒の人間関係にも大きな影響を及ぼす。企業のなかには解雇にふみきる社もあり、該当生徒に対するカウンセリング等の支援も必要であることを痛感した。

アイディアを生み出す発想法として、KJ法とブレインストーミングを利用したが、企業の商品開発担当者などに協力を仰ぎながら、新たな発想法を検討することも今後の発展につながるだろう。

講演の題：この指とまれ！方式－めぐせ、一石ニ鳥		
講師氏名	平塚 知真子さん	5月8日 午後6時限
講師の職業、肩書きなど株式会社エブリジョソフサイエンス「社長」		
内容メモ 子育ての味方。居心地がいい環境をうけつた！！ 子育ては大きな変革。→子供が欲しい、子育ての情報が必要（い）ゆきまといん もいどに必要とするなら、昔、 どんなことがHAPPYだった？ 何が必要だった？ そこらへんを得て！ 同じ立場の人から話を聞いてみる！ でもやり始めると大変！ 質問メモ Q→ヒュウゾを作った？ A→アベノオミダリ号で北地蔵の 情報をおいてくれた。その後 情報誌の作成をした。 Q→うっていいお宝持参の身体は？ A→国のおでこ(平塚)が同じ家で その身体で。 Q→兄弟姉妹の存在の情報は？ A→6人まで（うち一人は？） 感想 最初には子育ての話かなーと思っていたのですが、起業する際 のポイントやNPDOのこと、他人の話しを聞くことでできてよかった。やはり、 起業するまでにたくさん人の壁も乗り越えてきてあるのだと思うなあと 感じた。人付き合い合えば本当に大変ですが、同じ目標を持って いれば大変な力になるなあーと思った。私もたくさん経験を積んで いきたいです。		
良くわかった		

普通	わからなかった
検印	検印

ふさいこそが運動旗だした。表方、ハヤリ、アムエグサの音が「好き」
本話 → 「年々やめたい」と語り内務省に！：大学卒業後、結婚 → 自分の居心地(地)の環境を憂うことになった。

NPPO → 利益を目的としない 法人 ← 但, 入信

[illegible]

大規模
資金
↓
目的
子育は大変

主として
参加者 第13バエド幼種園から10号
元氣をいひ、こういう場がたいと元氣の
なくなる。同じ立場の人たちを集めて
話し合ふ。

ジョビイ/市場事業
の作成、そして情報の交換
ジョビイ/エリカ/10-11-

29 = 74
 753477
 今年 60万 1173

① 子連入2000年情報提供、次は
② 出金11000円以下
③ 2008.6.25 15:15 止

③ 2226 2226 2226

④ 2226 2226 2226

⑤ 2226 2226 2226

⑥ 自分に必要だから → 同じ立場の人のため

→ 4. 7. 4. 2 → 漢文、イテ其の「新」ニ → 改善
(守り)が突出
、子育(エ)ヲ「守リ」申「守ル」事也!!!

人にならなかつた。⑤ 乙未の春三月
はとりを交う
価値が二倍

子育ては大変
↑
得るものがたくさんある

2005年 收入 700万
支出 30万
NPV = 金流(CI) - 金流(CO)
= 670万

主	300万	100万(1921)
主	340万	2= 99万
主		材料(5(原...))

たかなうた？
必要だから行く

[illegible][illegible]

子孫子孫
不木々々

11月10日 来日。
 大さぐたうていふた。
 11月11日 彼にけの → 同じ立ち場の人を欲し(い

[illegible]

NP0は
"かてけ"な!!

学習のねらい

1. 企業のしくみ（組織）やそこで働く人たちの職種・業種について理解する
2. ささまざまな雇用形態について理解し、自分の生き方を考える契機とする
3. 企業が生み出すモノやサービスがどのように利益を得るかを知り、社会のニーズを知る

2学期におこなう起業活動の前に、社会のなかの「企業（会社）」のしくみを理解しよう。企業は、どうやって利益を得ているのか、そこで働く人たちはどのような組織のなかで役割を分担しながら働いているのか、これからの社会ではどのようなモノやサービスが求められるのか。これらのことを知ることで、新しい社会のニーズを考えるきっかけとなり、起業のアイデアアブリが、活動をおこなううえで重要な役割が担もメムーシやすくなり。

1. 業種と職種

「業種」とは…会社がやっている事業（作るモノや扱うモノ）によって分類した種類のこと。
「職種」とは…働く人が果たしている仕事の役割で分類した種類のこと。

【練習】資料を参考に、あなたの興味関心のある業種・職種を調べ、書き出してみよう。

<p>(業種)</p> <p>情報業 サービス業 建設業</p>	<p>(職種)</p> <p>事務・スタッフ部門 企画・開発部門</p>
--	--

2. 企業（会社）の役割について

資料を参考に、企業の成り立ち・役割についてまとめよう。

- ①企業（会社）の成り立ち
利益の追求
・事業の継続・研究
・配当 etc.
- ②企業（会社）の役割
商品・サービスへの提供
・公共性
・文化の創造 etc.

3. 企業（会社）の組織について

地域の身近な企業のホームページや求人票を調べ、会社の組織図を書き出し、それぞれの役割について簡単にまとめよう。

【参考】

「私のしごと館」ヨブシヨブワールド」 <http://shigotokan.ehdo.go.jp/>

「キヤリアクト」 <http://cmx.vrsys.net>

(会社名) ホンダ・イクシードのプロジェクト (会社概要)

1. 創業（96 年）
2. 業種（製造業）
3. 事業内容（自動車機器・産業機器メーカー）
4. 資本金（36,800 万円）
5. 売上高（326,102 万円）
6. 代表者（スズキ・タケシ）
7. 従業員数（5981 人）
8. 企業理念や経営方針
地域社会との良好な関係作りを最重要視し、総員密なコミュニケーションを図り、地域社会から期待される活動を実施。
9. 関連会社や業務提携会社・取引先
いすゞ、スズキ、タケハツ、トヨタ、日産、日産デパート、

10. 地域への貢献や環境への取り組み

「インドネシア・ジャワ島の災害復旧義援金」

11. 組織図と各部署の役割

取締役社長

自動車関係 自動車機器

電動工具 ハンドラバ―、ドリルなど

産業機器の防禦力向上、振動放散機器など

取締役専務(3人)

取締役

監査役(4人)
の2人が常勤

常務執行役員 (7人)

執行役員 00人

おかげさまで、お礼です。

[illegible]

や夏休みの宿題に励んでいます。

親御さんまでとても親切にしてくださいって、嬉しかったです。

いただき、本当にありがとうございました。

お体に気を付けて下さい。

敬具

平成十九年八月二十二日

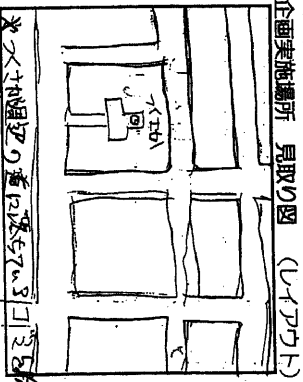
坂戸市立第一福祉作業所の皆様

資料 1 - ③ 企画書 (筑坂清掃団の例)

企画内容	企画番号	法務局	起基銀行
企画名	23		
企画期間	平成 19 年 10 月 11 日 ~ 11 月 8 日	起業場所	深木交近辺

企画内容	企画名	(会社名)	調査結果
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
企画立案の背景	深木交近辺	深木交近辺	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。

役員	担当スタッフ	中心になって行う仕事
社長		企画書の作成、許可申請書の作成、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
記録員		自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
清掃員		自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
市役所で許可を得る。清掃用具の準備。⇒(晩年)		自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
学校、ゴミ捨て場に捨てて良いかの許可。ゴミを置く場所を指定する。		自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
16:20	7人全員集合	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
16:30	2人グループに分かれて清掃開始	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
17:30	清掃活動終了	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
17:40	分別作業開始	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
18:00	終了。スリッパ解散	自分たちの活動が、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。
備考	拾ったゴミをリサイクルして、深木交近辺の清掃活動に、何かと関係があるように思う。深木交近辺の清掃活動は、区長から、自分たちの活動に、何かと関係があるように思う。	
資金計画	収入予想額 1000 支出予想額 0 収益予想額 1000	



資料 1 - ④ 資金計画書 (手作リスコーン販売「AFTERnoonつくさか♪」の例)



資金計画書 (下書き用)

企業番号	
振込 振込先	

企画	手作リスコーン販売	会社名	AFTER NOONつくさか
期	11/7 ~ 11/14 (共に水曜日)	起算場所	A倉庫1階 事務室前

●費用 (企画運営に必要な物品および経費)

品名	数量	単価	金額	備考
1. 手作リスコーン材料	200g	290	8700	
2. 手作リスコーン材料	150g	380	5700	
3. 手作リスコーン材料	100g	380	3800	
4. 手作リスコーン材料	200g	310	6200	
5. 手作リスコーン材料	100g	160	1600	
6. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
7. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
8. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
9. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
10. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
11. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
12. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
13. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
14. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
15. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
16. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
17. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
18. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
19. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
20. 手作リスコーン材料	200g	160	3200	
合計			51700	

●収益 (何をいくらでどのくらいサービスするか)

品名	数量	単価	金額	備考
1. 手作リスコーン	100	1000	100000	
2. 手作リスコーン	100	1000	100000	
3. 手作リスコーン	100	1000	100000	
4. 手作リスコーン	100	1000	100000	
5. 手作リスコーン	100	1000	100000	
6. 手作リスコーン	100	1000	100000	
7. 手作リスコーン	100	1000	100000	
8. 手作リスコーン	100	1000	100000	
9. 手作リスコーン	100	1000	100000	
10. 手作リスコーン	100	1000	100000	
合計			100000	

●融資決定額

以上の申請により、融資を融資することを決定致します

融資額 100000 円

起業基礎

施設および備品使用許可証 (下書き用)

起業活動のため、当施設および備品の使用を許可します。

※使用する施設名称: 吉岡理室・A倉庫1階

使用日	使用時間	使用目的	担当教員
11月7日(水)	7:30 ~ 8:30	スコーン作り	初谷
11月14日(水)	16:10 ~ 17:10	スコーン販売のため	佐藤
使用日	使用時間	使用したい調理器具名と数量	担当教員
11月7日(水)	7:30 ~ 8:30	オーブン3台, ホール木3本	佐藤
11月14日(水)	16:10 ~ 17:10	計量器12, 容器62, トレイ12, 電子レンジ12	佐藤
月 日 ()	~		
月 日 ()	~		
月 日 ()	~		

- <使用にあたっての確認事項>
- 担当教員の顔は、直前で確認サインをもらうこと。
 - 施設使用後は、使用前の状態に責任をもって戻し、清掃すること。
 - 許可を受けていない施設内の備品を勝手に使用しないこと。
 - 最初と最後に、必ず担当教員の確認を受けて下さい。
 - 授業等に支障が生じることがあれば、その後の使用を禁止します。

以上、責任をもって使用することを約束します。

平成 19 年 11 月 2 日

企画名 手作リスコーン販売

(企画代表者名) 年 組

上記の件、了承しました。

平成 年 月 日

施設使用許可者

印

2年C組 7番 奥山可奈子

1. 企画名	「 <u>成長への第一歩</u> 」																																			
2. 会社名	「 <u>Clean's</u> 」																																			
3. スタッフと役割分担																																				
<table border="1"> <tr> <td>○組</td> <td>氏名</td> <td><u>奥山</u></td> <td>役割</td> <td><u>資料、社長</u></td> </tr> <tr> <td>△組</td> <td>氏名</td> <td><u>長田</u></td> <td>役割</td> <td><u>モック作成</u></td> </tr> </table>	○組	氏名	<u>奥山</u>	役割	<u>資料、社長</u>	△組	氏名	<u>長田</u>	役割	<u>モック作成</u>	<table border="1"> <tr> <td>組</td> <td>氏名</td> <td></td> <td>役割</td> <td></td> </tr> <tr> <td>組</td> <td>氏名</td> <td></td> <td>役割</td> <td></td> </tr> <tr> <td>組</td> <td>氏名</td> <td></td> <td>役割</td> <td></td> </tr> <tr> <td>組</td> <td>氏名</td> <td></td> <td>役割</td> <td></td> </tr> <tr> <td>組</td> <td>氏名</td> <td></td> <td>役割</td> <td></td> </tr> </table>	組	氏名		役割		組	氏名		役割		組	氏名		役割		組	氏名		役割		組	氏名		役割	
○組	氏名	<u>奥山</u>	役割	<u>資料、社長</u>																																
△組	氏名	<u>長田</u>	役割	<u>モック作成</u>																																
組	氏名		役割																																	
組	氏名		役割																																	
組	氏名		役割																																	
組	氏名		役割																																	
組	氏名		役割																																	

企業経営の者、両波重なり、70パーセントは準備に入っている。だから安定していた日時をかなり大きく差が広がってしまっている。我々も準備をしていこうか、なかなか思ひやうに他人がいずれは状況がある。活動期間の延長と進出してはもう、この流れに合わせて二つの活動を迫られていた。

リールを兼注した学生（渡辺氏）融資が完了次第、発生する予定の活動費を人々は（ほくろ）は坂戸駅北口へ行って行われる期間中にふるまふ。手の人とも相談を下した。人々に「たいていは自分の会社の知名度を上昇させるのが目的なので、他にも活動参加者が続出中だ。」

二枚からは、1770年エドワードが北緯40度の緯線を通過したのが、活動場所や高度（±500フィート）など、位置と速度の11%を付けたのは5%に、2.4%間では、718.5°Cの温度で、30%の（3、5）と（5、7）と（7、11）と。至極重要な（2、3）と（3、4）と（4、5）と（5、6）と（6、7）と（7、8）と（8、9）と（9、10）と（10、11）と（11、12）と（12、13）と（13、14）と（14、15）と（15、16）と（16、17）と（17、18）と（18、19）と（19、20）と（20、21）と（21、22）と（22、23）と（23、24）と（24、25）と（25、26）と（26、27）と（27、28）と（28、29）と（29、30）と（30、31）と（31、32）と（32、33）と（33、34）と（34、35）と（35、36）と（36、37）と（37、38）と（38、39）と（39、40）と（40、41）と（41、42）と（42、43）と（43、44）と（44、45）と（45、46）と（46、47）と（47、48）と（48、49）と（49、50）と（50、51）と（51、52）と（52、53）と（53、54）と（54、55）と（55、56）と（56、57）と（57、58）と（58、59）と（59、60）と（60、61）と（61、62）と（62、63）と（63、64）と（64、65）と（65、66）と（66、67）と（67、68）と（68、69）と（69、70）と（70、71）と（71、72）と（72、73）と（73、74）と（74、75）と（75、76）と（76、77）と（77、78）と（78、79）と（79、80）と（80、81）と（81、82）と（82、83）と（83、84）と（84、85）と（85、86）と（86、87）と（87、88）と（88、89）と（89、90）と（90、91）と（91、92）と（92、93）と（93、94）と（94、95）と（95、96）と（96、97）と（97、98）と（98、99）と（99、100）と（100、101）と（101、102）と（102、103）と（103、104）と（104、105）と（105、106）と（106、107）と（107、108）と（108、109）と（109、110）と（110、111）と（111、112）と（112、113）と（113、114）と（114、115）と（115、116）と（116、117）と（117、118）と（118、119）と（119、120）と（120、121）と（121、122）と（122、123）と（123、124）と（124、125）と（125、126）と（126、127）と（127、128）と（128、129）と（129、130）と（130、131）と（131、132）と（132、133）と（133、134）と（134、135）と（135、136）と（136、137）と（137、138）と（138、139）と（139、140）と（140、141）と（141、142）と（142、143）と（143、144）と（144、145）と（145、146）と（146、147）と（147、148）と（148、149）と（149、150）と（150、151）と（151、152）と（152、153）と（153、154）と（154、155）と（155、156）と（156、157）と（157、158）と（158、159）と（159、160）と（160、161）と（161、162）と（162、163）と（163、164）と（164、165）と（165、166）と（166、167）と（167、168）と（168、169）と（169、170）と（170、171）と（171、172）と（172、173）と（173、174）と（174、175）と（175、176）と（176、177）と（177、178）と（178、179）と（179、180）と（180、181）と（181、182）と（182、183）と（183、184）と（184、185）と（185、186）と（186、187）と（187、188）と（188、189）と（189、190）と（190、191）と（191、192）と（192、193）と（193、194）と（194、195）と（195、196）と（196、197）と（197、198）と（198、199）と（199、200）と（200、201）と（201、202）と（202、203）と（203、204）と（204、205）と（205、206）と（206、207）と（207、208）と（208、209）と（209、210）と（210、211）と（211、212）と（212、213）と（213、214）と（214、215）と（215、216）と（216、217）と（217、218）と（218、219）と（219、220）と（220、221）と（221、222）と（222、223）と（223、224）と（224、225）と（225、226）と（226、227）と（227、228）と（228、229）と（229、230）と（230、231）と（231、232）と（232、233）と（233、234）と（234、235）と（235、236）と（236、237）と（237、238）と（238、239）と（239、240）と（240、241）と（241、242）と（242、243）と（243、244）と（244、245）と（245、246）と（246、247）と（247、248）と（248、249）と（249、250）と（250、251）と（251、252）と（252、253）と（253、254）と（254、255）と（255、256）と（256、257）と（257、258）と（258、259）と（259、260）と（260、261）と（261、262）と（262、263）と（263、264）と（264、265）と（265、266）と（266、267）と（267、268）と（268、269）と（269、270）と（270、271）と（271、272）と（272、273）と（273、274）と（274、275）と（275、276）と（276、277）と（277、278）と（278、279）と（279、280）と（280、281）と（281、282）と（282、283）と（283、284）と（284、285）と（285、286）と（286、287）と（287、288）と（288、289）と（289、290）と（290、291）と（291、292）と（292、293）と（293、294）と（294、295）と（295、296）と（296、297）と（297、298）と（298、299）と（299、300）と（300、301）と（301、302）と（302、303）と（303、304）と（304、305）と（305、306）と（306、307）と（307、308）と（308、309）と（309、310）と（310、311）と（311、312）と（312、313）と（313、314）と（314、315）と（315、316）と（316、317）と（317、318）と（318、319）と（319、320）と（320、321）と（321、322）と（322、323）と（323、324）と（324、325）と（325、326）と（326、327）と（327、328）と（328、329）と（329、330）と（330、331）と（331、332）と（332、333）と（333、334）と（334、335）と（335、336）と（336、337）と（337、338）と（338、339）と（339、340）と（340、341）と（341、342）と（342、343）と（343、344）と（344、345）と（345、346）と（346、347）と（347、348）と（348、349）と（349、350）と（350、351）と（351、352）と（352、353）と（353、354）と（354、355）と（355、356）と（356、357）と（357、358）と（358、359）と（359、360）と（360、361）と（361、362）と（362、363）と（363、364）と（364、365）と（365、366）と（366、367）と（367、368）と（368、369）と（369、370）と（370、371）と（371、372）と（372、373）と（373、374）と（374、375）と（375、376）と（376、377）と（377、378）と（378、379）と（379、380）と（380、381）と（381、382）と（382、383）と（383、384）と（384、385）と（385、386）と（386、387）と（387、388）と（388、389）と（389、390）と（390、391）と（391、392）と（392、393）と（393、394）と（394、395）と（395、396）と（396、397）と（397、398）と（398、399）と（399、400）と（400、401）と（401、402）と（402、403）と（403、404）と（404、405）と（405、406）と（406、407）と（407、408）と（408、409）と（409、410）と（410、411）と（411、412）と（412、413）と（413、414）と（414、415）と（415、416）と（416、417）と（417、418）と（418、419）と（419、420）と（420、421）と（421、422）と（422、4

[illegible]

7 課題解決のために必要な力（場）に付けてほしい「7つの力」のうち特にどの力が必要か）

今の私には企業で働くのが仕事、他の力を必要としない。今の活動は私の
経験の中で起る経験からの企業での実現あり。（着必要を感じると
その結果に責任を负けて、その力が発揮されること）

今のうちに想像力をよく育てていかなければならぬ。起るもの、たまたまのこと
を起して準備にしたい。自分の会社が力ある、その力がある氣に任れる、
企業を成功させることには、結果を導くこと、（着）自分の身のまわりの
流れをいかにコントロールすること。

[illegible]

2年C組7番 氏名 奥山 可奈子

1. 企画名【魂来一紙に集いしを】

3. 企業番号（つくさか法務局を通過した企画のみ記入すること）

4. 融資金額（起業基礎銀行で融資を受けた企画のみ記入すること）

5. スタッフ 人数 (2 名)

留用	留用
留用	留用

6. 起業期間

（11月13日（火），11月17日（土））

計画

(坂戸北口バスター)

坂井中心は、現状に於ける生産運動を契機とした。今日の日本に於ける新技術の普及、世間一般の知識の普及、労働者の人間的な成長、表に対する支持を得て、主として、社会主義の運動である。

まだレゾネを使ひ人々、アバノガを買ひつゝ思ふ、云ふ人、
殖産活動が足りないハバヤ。

セルズポイント（企画の独自性）
 不便な場所でもパソコンの販売をしたが、会場の清掃作業ができて、
 デジネストとパソコンの組み合わせがある。

34 金融(エ)は人の時間をおかして来たり、それを金に換へてく(エ)な(エ)で、99%だ。それはまだまだ「格別不足だ」思ふ、100%のものを金に換へる機會が、増えると思ふので、今日の金(エ)に一生をかけていたと思つた。金(エ)が、思つてゐた以上で、人(エ)に付いたもの考えた、まず「社員不足」問題に無理があつた、と、決断する、そこで、30%の金(エ)で、その金(エ)で、買ひかゝる、株、白粉、や、て、ま、う、今、度、の、金(エ)の、場面、に、当、て、た、5、分、の、金(エ)で、上(エ)に出た。企業活動で失敗に陥る活動をして思ひ、そこで、自分(エ)が、思つて、以上(エ)に、エ(エ)に、付、た、金(エ)に、違、理、由、な、の、か、う、な、い、の、エ(エ)を、持、ち、て、る、人、が、99%、と、思、つ、た。主、た、金(エ)の、一、人(エ)に、お、よ、ぶ、た、か、う、だ、が、集、め、た、だ。失敗(エ)して、いる、と、か、99%、だ、が、その、中、で、も、主、た、金(エ)の、理、由、を、見、出、した、の、思、ひ、は、忘、れ、る、に、常、に、考、へ、て、い、ら、れ、た、の、で、失敗(エ)する、と、思、つ、た、本、切、に、お、も、た、本、切、に、思、つ、た、他、に、も、い、ふ、エ、何、ま、で、思、ひ、い、い、と、思、つ、た、分、の、金(エ)を、集、め、る、の、か、う、だ、(エ)に、思、つ、た。高、校、生、だ、か、う、い、う、の、か、う、だ、思、つ、た、成、功、を、思、つ、た、と、思、つ、た、か、う、に、お、金(エ)付、け、た、企、業、活、動、だ、か、う、だ、思、つ、た、

2学期に実際に「起業活動」を行って、あなたは「起業する」ということについてどのような考えを持ちましたか？あなたの考えを述べなさい。

[illegible]

起業基礎ワークシート

企業番号 200728

代表者氏名
会計

金通寶銀行總行

起業基礎銀行

記入日	お取引内容	入金額	出金額	残高	担当者	確認
11/6	資本金	10,000		¥10,000-	(封) 高	
11/6	材料費		3,000	¥7,000-	(封) 高	
11/8	売上金	5,020		¥12,020-	(封) 高	
11/3	材料費		2,000	¥10,020-	(封) 高	
11/3	施設使用 (11/4/12)		300	¥9,720-	(封) 高	
11/5	売上金	5,670		¥15,390-	(封) 高	
12/8	施設使用料 (7/8/1)		100			
"	14日 訪問理容		300			
"	A館下		100	¥14,890-	(封) 高	

$$\frac{0}{v}$$

資料１－⑦ 活動のようす（写真）



写真① 4月17日春休み課題発表



写真② 4月24日発想法



写真③ 6月19日ポスターセッション



写真④ 6月26日ヒアリング②



写真⑤ 企業活動１・筑坂清掃団



写真⑥ 企業活動２・深谷カンパニー



写真⑦ 企業活動３・clean's



写真⑧ 企業活動４・7538music



写真⑨ 起業教育ミーティング（事例報告）

平成 19 年度「起業基礎」保健所設置について

【目的】

- ・食品を扱う企業として、食品衛生についての知識を身に付けさせ、衛生意識を高めさせるため
- ・食品製造する企画は容易にできるものではないことを認識させるため

過去の起業基礎出店における食品販売企画では、出店（しゅってん）の審査基準に衛生管理項目が設けられておらず、企業側生徒にもその意識が育たず、その販売日数の少なさ（1回きりという販売も多かった）から、祭りの出店（でみせ）の乗りで販売している傾向が非常に強かったように思う。食品を販売することは安全について責任を負うことである。安易な食品製造販売を企画する団体の増長を避ける意味でも、食品を扱う場合は特に、常店の製造販売を基準として出店成立させるべきである。衛生管理知識が不足した状況下での製造・販売についての問題点を見直し、社会での起業においても設けられている基準に則り、起業審査に一定のルールを設け、その範囲内での起業を認めることを目的とする。

【食品を企画する団体に定めたルール】

- ①つくさか保健所の実施する食品衛生責任者講習会を受講する。
（食品衛生責任者になる予定の者および受講を希望する者）
- ②食品衛生に関する試験を受験する。合格者 1 名が食品衛生責任者になり企業内の管理を行う。
- ③試験合格者がいない場合は、食品企画での起業はできない。
- ④腸内細菌検査を必ず受け、検査結果が陰性でなければ食品企画での起業はできない。

【保健所設置・活動の実態】

- 1) 指導教員が講習会を受講する。
 - ・県で行われている食品衛生責任者養成講習会に教員を 1 名派遣し、教員が食品衛生責任者の資格を得る。また、その講習会で実際の講習がどのように行われているかなどについて理解する。
- 2) つくさか保健所による食品衛生責任者講習会を行う。
 - ・講習内容の厳選・講習用プリントの作成
 - ・受講者は、各企業の食品衛生責任者および受講を希望する者
 - ・講習後に試験を実施
（○×の選択問題、85 点以上合格、各企業につき受講者なら誰でも 1 名が合格すれば起業できる、合格するまで毎週試験を実施）
- 3) 腸内細菌検査をとりまとめる。
 - ・2) と平行して行った。（食品衛生管理責任者試験の合格決定を待たず検査を実施した。検査結果が判明するまでに 3 週間時間がかかるため）
 - ・本年度は、文化祭で利用した検査会社に依頼することで、少ない検体数ではあったが、検査を低コスト・短時間で実施することができた。
 - ・文化祭で食品の企画をし、既に検査を実施したクラスに所属する生徒は検査結果の有効時期が重なるので、その生徒への腸内細菌検査は免れた。

4) 食品衛生についてのチェックおよび個別相談を実施する。

融資審査の際に、食品衛生上の問題点をクリアできた団体のみが審査に臨めるように義務づけた。そのために、食品衛生に関する質問や相談に対応できるように、審査の前に食品団体が保健所で食品衛生担当教員と相談を行うことができる体制づくりを行った。

【つくさか保健所による講習会の概要】

- 1) 食品営業者になるためには・食品衛生責任者とは
- 2) 食品衛生について
 - ①食中毒とは
 - ・食中毒の発生状況（近年の傾向）
 - ・細菌性食中毒 種類・特徴と予防方法（ビデオも使用）
 - ・自然毒食中毒について 特別な処理が必要な食品
 - ②食中毒を予防するには
 - ・予防三原則
 - ・手指洗浄の仕方と注意
 - ③その他
 - ・食中毒が発生した場合の対応の仕方・行政処分について
 - ・食品の管理について
 - ・検査について
 - ・腸内細菌検査の意義・目的

【保健所を設置してみても】

- ・食品企画は毎年人気があり、気楽に食品企画で起業しようと考えてる生徒が多いように感じていた。今回保健所を設置したことで、食品を提供する難しさ、大変さの意味を理解した生徒が増え、安易な食品企画での企業に歯止めをかけることができたと思う。
- ・食品衛生責任者になった生徒は、「講習会が難しく、試験も大変だった」などの感想を学期末のふり返りシートに記入していた。
- ・「食品衛生責任者は食品を扱う上での衛生的な面について一切の責任を持つ」という自覚を持たせることが十分にできなかった。そのため、融資審査前の個別相談において、保健所担当教員が指導をしても通じないことが多かった。食品衛生責任者になった生徒の役割について十分認識させることが衛生管理の徹底にもつながるので、その点を次年度に申し送りたい。
- ・衛生意識の向上については、客観的なデータがないのでわからないが、衛生上の問題点をクリアしなければ企業活動に進めないという体制は、衛生に留意することへの行動力を強めたと思われる。
- ・保健所からは、起業活動場面に立ち会う教員に対して、生徒の意識付けにつながる次の点について徹底をお願いした。
 - 衛生的に実施するため、実習着を着用させること、食器等の殺菌消毒を実施すること。
 - 食品の保管方法を確認ししっかりと管理すること。
 - 毎回検査を提出すること。
- ・今回の起業基礎委員には、栄養士免許・調理師免許をもつ教員がおり、食品衛生に関する講習・試験問題作成もどうにかあったが、委員にそのような教員がいない場合は、衛生管理についての徹底は難しいかもしれない。

平成19年度「起業基礎」保健所設置について 資料 2

第1回 『起業基礎』食品衛生管理責任者試験

2007/10/2

会社名 _____ 2年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

1～20の各項目において、(1)～(4)のうち、正しいもの2つに○印を、誤っているもの2つには×印を、回答欄に記入しなさい。

1. 食中毒の発生状況①

- (1) 腸炎ビブリオによる食中毒は、世界でも日本で多発している。 ☐
- (2) 有毒物質をもっている動物・植物を食べることによっておこる自然毒食中毒の発生頻度は、微生物食中毒よりはるかに高い。
- (3) 食中毒の発生件数は、年々減少傾向が認められ、特に近年は発生件数が激減している。
- (4) 食中毒件数は一般に、気温や湿度が高くなる7月から9月にかけての3か月間が、最も多発する時期である。 ☐

2. 食中毒の発生状況②

- (1) 食中毒発生件数のうち、微生物によるものは毎年90%と多発している。 ☐
- (2) 平成17以前と平成18年以降とで、食中毒発生率の増加が見られる。それは0.157倍に増加している。この理由はノロウイルス食中毒の増加で、報告割合の向上と考えられる。
- (3) 冬季の食中毒患者数は増加している。この理由はノロウイルス食中毒の増加で、報告割合の向上と考えられる。 ☐
- (4) わが国の食中毒患者の大部分は微生物のウイルスによるものである。

3. 食中毒発生率の多い原因施設はどこか

- (1) 原因施設別食中毒発生件数のトップ3は、学校（給食）である。
- (2) 食中毒のうち20%が家庭で起きている。 ☐
- (3) 病院では死者の出るような食中毒発生率の事例はない。
- (4) 家庭では食中毒発生件数は比較的多いが患者数が少ない。 ☐

4. 食中毒発生時の対応について

- (1) 事故が発生した場合は、速やかに管轄保健所へその旨通報しその指示に従う。 ☐
- (2) 食品微生物法により不法行為が認められると、保健所長から許可の取り消し、営業の停止、食品の廃棄命令の行政処分を受ける。
- (3) 食中毒事件の拡大を防止することにより、汚染源の追及、原因食品の特定など保健所の調査に全面的に協力する必要がある。 ☐
- (4) 腸内細菌検査の合格書を営業許可の時に一度行い、保管して提出に備える。

5. 腸内細菌検査を受ける理由

- (1) 調理者が調理に携わることのできる状態かどうかを判断するため。 ☐
- (2) 調理者の体調を調べるため。
- (3) 加熱調理によるかどうか、メニュー内容を決定するため。
- (4) 菌の保有者を調べるため。 ☐

6. 細菌性食中毒について①

- (1) 魚介類が原因で起こるものは、腸炎ビブリオである。 ☐
- (2) 手指の汚染で起こるものは、ボツリヌス食中毒である。
- (3) 鶏肉、卵が原因で起こるものは、サルモネラ食中毒であることが多い。 ☐
- (4) 缶詰、ソーセージなど嫌気的条件下で発生するものは、黄色ぶどう球菌である。

7. 細菌性食中毒について②

- (1) 腸炎ビブリオは海水細菌の一種で、3%前後の食塩を含む培地で増殖でき、食塩を含まない培地では生育できない。 ☐
- (2) 黄色ぶどう球菌より産生されるエンテロトキシンは、100℃なら瞬時に破壊される。
- (3) ボツリヌス菌は、好気性菌であり酸素のないところでは増殖できないので、真空包装された食品では食中毒が発生しない。
- (4) 腸炎ビブリオによる食中毒は、食品内部まで加熱しすぐに食せば防ぐことができる。 ☐

8. 食品の量分け方について

- (1) 食中毒菌で汚染された食品は、必ず味・色・香りに変化があり注意すればわかる。
- (2) 消費期限内であれば食品は安全である。
- (3) 新鮮な卵ほど水に入れればより下側に沈む。 ☐
- (4) 海産魚を真水で洗うことは、腸炎ビブリオ食中毒の予防の1つとなる。 ☐

9. 食品の保存について

- (1) 食中毒の原因となる細菌は10℃以下では増殖しないので、食品を冷蔵庫に保存しておけば食中毒の危険はない。
- (2) 食品を冷凍した場合、一般に細菌類は0℃以下では増殖することはできないが、死滅することはない。 ☐
- (3) 冷凍した食肉を常温に戻すと筋組織が損傷しているため変質しやすい。 ☐
- (4) 食品を冷凍すれば細菌が増えることはないので、食品はいづまでも保存可能である。

10. 食品の冷凍保存の方法について

- (1) 冷凍庫内の温度は－7℃以下に保つ。
☐ × ☐ ×
 (2) 庫内の食品の配置を管理し、きっちりと隙間なく食品を詰めておく。
☐ × ☐ ×
 (3) 扉の開閉回数を少なくし、短時間で開閉する。
☐ × ☐ ×
 (4) 必ず包装されている状態にして保存する。
☐ × ☐ ×

11. 検査について

- (1) －20℃以下の冷凍室で2日間保存することになっている。
☐ × ☐ ×
 (2) 食中毒の原因を追及することで、再度同じ事故の発生を防止するために行う。
☐ × ☐ ×
 (3) 検査の細菌検査により「調理施設で調理した飲食物は、食中毒事件には直接関係はありません」という衛生的な証明をするために必要である。
☐ × ☐ ×
 (4) 仕入れた状態の食材を一つずつ別々に、50gずつ検査用容器に採取する。
☐ × ☐ ×

12. 食中毒例について①

- (1) おにぎりで食中毒を起こすことの多いのはぶどう球菌によるものである。
☐ × ☐ ×
 (2) まな板など調理器具を食品の種類で使い分けることは、第一に臭い移りを防止するためである。
☐ × ☐ ×
 (3) 給食病と呼ばれるウエルシュ菌は芽胞が熱に強いので、前日調理品を再加熱しても食中毒を起こすことがある。
☐ × ☐ ×
 (4) 感染源の特徴から、肉に潜む悪魔と呼ばれるのはぶどう球菌である。
☐ × ☐ ×

13. 食中毒例のVTR紹介について

- (1) イカ焼きで食中毒が起きた例は、ぶどう球菌が原因菌であった。
☐ × ☐ ×
 (2) 茶碗蒸しのボールでポテトサラダ作りをして食中毒が起きた例は、茶碗蒸しに用いた海老から、腸炎ビブリオが付着したのが原因であった。
☐ × ☐ ×
 (3) 茶碗蒸しのボールでポテトサラダ作りをして食中毒が起きた例は、茶碗蒸しに用いた卵から、サルモネラ菌が付着したのが原因であった。
☐ × ☐ ×
 (4) 野球の試合に特参したおにぎり弁当が原因で起きた食中毒例は、ぶどう球菌が原因であった。
☐ × ☐ ×

14. ノロウイルスによる食中毒について

- (1) 刺身など魚介類の生食により発症することが多い。
☐ × ☐ ×
 (2) 月別発生状況は夏に多い。
☐ × ☐ ×
 (3) 少量のウイルスでも発症する。
☐ × ☐ ×
 (4) 調理従業者からの二次汚染によるサンプトイチなどを介した食中毒例がある。
☐ × ☐ ×

15. 腸管出血性大腸菌による食中毒について

- (1) 赤痢菌の毒素と類似の毒素を産生する大腸菌による食中毒であり、腹痛、出血を伴う水様性の下痢などを発症する。
☐ × ☐ ×
 (2) 夏に多く発生するところは一般の食中毒と同様だが、加熱や消毒薬に大変
☐ × ☐ ×

強いので致死率が高い。

- (3) 糞尿を介して食品、飲料水を汚染する。少量でも発症することがある。
☐ × ☐ ×
 (4) 人から人へも感染するので、患者を隔離する必要がある。
☐ × ☐ ×

16. 検査保存の必要な施設

- (1) 病院の売店
☐ × ☐ ×
 (2) 惣菜屋
☐ × ☐ ×
 (3) 家庭
☐ × ☐ ×
 (4) 修学旅行で利用する食堂
☐ × ☐ ×

17. 細菌性食中毒の予防について

- (1) プラスチック性まな板と木製まな板では、前者の方が菌の汚染が少ない。
☐ × ☐ ×
 (2) 消毒にアルコールを使用する場合、その濃度は70～80％程度がよい。
☐ × ☐ ×
 (3) 食品を冷凍保存すれば菌は死滅する。
☐ × ☐ ×
 (4) 水道水を貯水槽に貯留してから給水する場合は定期的に水質検査を受けなくともよい。
☐ × ☐ ×

18. ネズミやゴキブリなどの進入を見つけたら

- (1) 習性などを学習する。
☐ × ☐ ×
 (2) 食品への混入を防ぐため、食品を露出しておかないようにする。
☐ × ☐ ×
 (3) 施設内にすぐ使える殺虫剤をできるだけ多く設置する。
☐ × ☐ ×
 (4) ネズミや昆虫が逃げやすいよう、施設からの逃げ道作りをする。
☐ × ☐ ×

19. 消毒薬について

- (1) 100％消毒用エタノールを使用する。水が混じって濃度が低下すると効果が低下する。
☐ × ☐ ×
 (2) ヘイターやフリーチと呼ぶ次亜塩素酸ナトリウムは、食品衛生分野で使用される代表的殺菌剤で、野菜類の洗浄に使用される。
☐ × ☐ ×
 (3) 普通の石けんは、洗浄力は強いが殺菌力は殆どない。
☐ × ☐ ×
 (4) 逆性石けんは消毒力は強いが洗浄力は弱いので、逆性石けんを普通の石けんと同時に使用すると、消毒力は著しく低下する。
☐ × ☐ ×

20. 食中毒予防の三原則

- (1) 食品に、細菌を付着させない、増殖させない、殺菌する、である。
☐ × ☐ ×
 (2) 食品を、冷凍保存する、完全加熱する、手指を消毒する、である。
☐ × ☐ ×
 (3) 食品を、冷凍保存する、完全加熱する、食器を洗浄する、である。
☐ × ☐ ×
 (4) 食品を、清潔、迅速、加熱、である。
☐ × ☐ ×

平成19年度「起業基礎」全企業の活動状況まとめ

平成19年12月21日現在

登録番号	企業名	業務内容	社員数	企業登録	審査通過	校内対象	校外対象	通帳残高	資本金	純損益
200701	ブラウン(有)	盲導犬募金	8	9月11日	9月21日	○	○	4,010	4,000	10
200702	ひらがいいしゃ	人材派遣	8	9月11日	10月23日	○		1,520	1,040	480
200703	チーム・サイエンス	実験教室	1	9月11日						
200704	広告・宣伝します店	他社の広告	3	9月11日						
200705	kid's ♥ Dance	幼児へのダンス指導	3	9月11日	11月6日		○	1,279	2,000	-721
200706	深谷カンパニー	中学生向け学校紹介パンフレット	7	9月11日	10月23日		○	10,985	14,160	-3,175
200707	7538.music	サークルホームで音楽を演奏する	4	9月11日	11月13日		○	0	0	0
200708	なんくるないさー	サーターアンダギーの販売	6	9月11日	11月5日	○		12,989	5,500	7,489
200709	筑坂KARUTA社	競技かるたを教える	3	9月11日	11月6日		○	2,443	5,000	-2,557
200710	K・A・O	メイク	5	9月11日	11月13日	○		5,836	7,600	-1,764
200711	NTTS	フリーペーパー	5	9月11日	11月12日	○		137	67	70
200712	ファープル	しおりの販売	4	10月2日	11月13日	○		1,500	1,290	210
200713	(株)斎藤史敏	靴や上履きの消臭・殺菌	2	10月2日	11月5日	○		1,955	505	1,450
200714	筑魚天国	ガムの販売	3	10月2日						
200715	シネクラブでポン!	紙芝居と駄菓子販売	6	10月2日	11月6日	○		3,490	2,800	690
200716	L&Sカンパニー	フレッシュジュースの販売	9	10月2日	10月30日	○		7,925	7,000	925
200717	筑坂製菓	手作り石けん	4	10月2日						
200718	つくね	オリジナルネクタイ販売	8	10月2日	11月6日	○		7,675	3,100	4,575
200719	筑 印良品	エコバッグの販売	6	10月2日	11月13日		○	7,985	7,400	585
200720	Clean's	トートバックの販売	2	10月2日	10月23日		○	24,095	16,905	7,190
200721	ぱくぱくぱーく	写真撮影・販売	3	10月2日	11月6日	○		5,980	6,000	-20
200722	MMRY会社	学校紹介新聞の販売	4	10月2日	11月5日		○	360	100	260
200723	筑坂清掃団	清掃・資源リサイクル	10	10月2日	10月23日	○	○	-250	0	-250
200724	MISHRAN-TKB	テスト対策問題集作成・販売	3	10月2日	11月13日	○		8,240	3,200	5,040
200725	ピクピクにんじん	空ペットボトル、空き缶回収	3	10月2日	11月13日	○		0	0	0
200726	つくタッキー	ポットパイの販売	6	10月2日	10月30日	○	○	18,879	13,560	5,319
200727	。*幸輝*	ケーキの販売	2	10月9日	10月30日	○		10,083	7,313	2,770
200728	After noon つくさか♪	スコーンの販売	5	10月9日	11月5日	○		14,890	10,000	4,890
200729	せんべいの会	一口せんべい	3	10月9日						
200730	フタエノキワミ(仮)	HP制作・データ入力	5	10月9日						
200731	IKKYO	フレンチトースト販売	5	10月9日	11月13日	○		700	3,700	-3,000
200732	輝き☆モータース	市販の菓子販売	4	10月9日	11月13日	○		8,064	7,640	424
200733	赤い部屋	都市伝説をVTR化・上映会	3	10月23日	11月12日	○		9,820	3,700	6,120
200734	旨馬サラダ	サラダの販売	3	10月23日	11月6日	○		5,250	5,000	250
200736	ドンdeびれっじ	(不明)	3	10月23日						
合計			159				小計	175,840	138,580	37,260

※「校内対象」とは、校内の人間(生徒・教員ほか)に対する企業活動を指し、「校外対象」とは、学校外の人間に対する企業活動(入試説明会もふくむ)を指す。

※資本金は、平成17年度「起業基礎」委員会に対して服部次郎校長(当時)が10万円の基金提供をおこない、以後運転資金として引き継がれている。

【まとめ】

登録企業数:36 融資審査通過企業数:28 校内活動企業数:27 校外活動企業数:10 平均社員数:4.6人

資本金:130,580円 通帳残高:175,840円 純利益:37,260円